

3月定例会

P2~3 全学年
30人学級へ

P4~5 下水道使用料 10%減額は

P6~7 **追跡** 土地開発公社

P8~15 一般質問 **喝**

P16~17 村民インタビュー

予算計上 30人学級実施へ

3月定例会

3月定例会は、3月2日から20日まで開催しました。30年度当初予算の一般会計と特別会計の4会計について、予算審査特別委員会の中で集中審議を行い、また、条例改正・29年度一般会計・特別会計補正予算・人事案件など23議案すべて全会一致で可決・同意しました。

教員を配置し、学習活動への適応を図る
制整備事業に1,545万円を計上した。

- 一般会計 24億6,185万円
- 国民健康保険特別会計 3億6,361万円
- 後期高齢者医療特別会計 4,473万円
- 公共下水道事業特別会計 1億2,847万円
- 西部町村情報公開
個人情報保護審査会特別会計 65万円

民生費 7億5,927万円

特定教育・保育施設負担金
1億2,905万円



小規模保育施設への助成など

総務費 6億6,831万円

新築住宅借入利息助成 (条件有)
860万円



新築住宅建設中

土木費 1億7,253万円

村営住宅建替工事
7,060万円



3DK 2戸を1DK 5戸に

衛生費 1億5,932万円

一般廃棄物処理負担金
3,036万円



分別がポイントです

30年度 予算

村独自の 全学年

小学校費6,045万円のうち、30人学級実施のため加配
ため、低学年を中心に学習支援員を配置する30人学級体

教育費
1億8,561万円

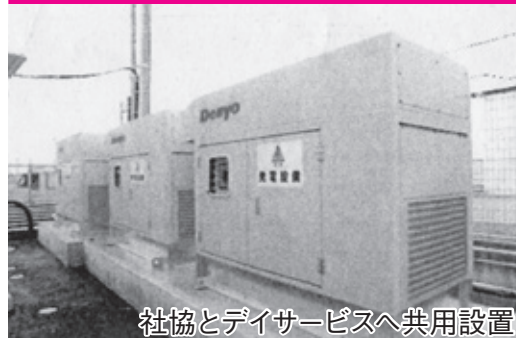
人材育成交流事業
500万円



小学生は沖縄、中学生はオーストラリア交流

消防費
1億3,121万円

福祉避難所非常用発電機設置
1億436万円



社協とデイサービスへ共用設置

国民健康保険制度改正により『国保のしくみ』が 変わります (30年4月1日から)

- 被保険者が行うこと → 加入手続き、保険料の納付
- 日吉津村が行うこと → 保険証の交付、保険料率の決定、賦課徴収、保険給付

- ・カーブミラーの整備、新設の防犯灯を充実されたい。
- ・川掃除での汚泥置場を明確にされたい。
- ・保育所建替えには、現場の意見を聞かれない。
- ・議会で議事録作成迅速化のため予算化を検討されたい。
- ・緊急通報装置の利用はていねいな説明をされたい。
- ・児童館など正規職員の配置を検討されたい。
- ・消防ホース取替後の活用を検討されたい。
- ・固定資産税の償却資産分の減少を見据えた予算確保に努められたい。
- ・ふれあい生活館の有効利用を検討されたい。
- ・カルチャー土曜塾やスポーツ少年団の数を増やす努力をされたい。

予算審査特別委員会
審査意見



平成21年度からの下水道使用料 10%減額は9月まで

段階的に正規料金にもどしていく

■日吉津村公共下水道使用料の特例に関する条例の一部改正



- ①条例の制定期間を半年とした理由は。
②上下水道とも命の元、10%減額を本村の目玉施策にするべきでは。
③固定資産税との関係で、下水道10%減額したと思うが。



- ①半年間は、みなさんに周知する期間。各自治会で説明したい。
②審議会の答申をほごにはできない。
③経済が困窮したとき10%の減額をした。

■日吉津村非常勤職員及び臨時的任用職員等に関する条例の一部改正



- ①期末手当は、他町と大きな差がある。改正を。
②人事院勧告で行うメリット、デメリットは。それぞれの対象人員と額は。



- ①本給は大きな差はない。期末手当は、今後検討したい。
②国の基準が下がっても、下げることはいらない。非常勤は約35人で100万円、臨時60人で110万円程度である。

■日吉津村複合施設及び管理に関する条例の一部改正



- コピー代の無料・有料件数は。他町聞き合わせの結果は。



- コピー機は、現金を入れて使用する。行財政改革の職員プロジェクトで検討。他町も10円であった。コピー枚数は、400~500枚くらい。

■日吉津村被災者住宅再建支援事業助成条例



- ①認定はだれが行うか。国、県からの支援金はあるか。



- 県条例の改正があったので、本村も改正するもの。県からも支援金はある。

日吉津村教育委員会委員

澤田 裕二さん

任命に同意しました

任期 平成30年4月1日から

平成33年3月31日

住所 日吉津（日上一）



人権擁護委員の候補者に

梅木洋子さん推薦は

適任としました

任期 平成30年7月1日から

3年間

住所 日吉津（樽屋）



■発議第1号 日吉津村議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

29年人事院勧告に基づき、特別職の職員の給与に関する法律の改正が行われたことにともない、平成30年4月1日から議会議員に係る期末手当の支給を、0.05月引き上げるもの



一般会計8,005万円 減額補正

うなばら荘へ 2,700万円の補助

一般会計



にぎわううなばら荘

主な歳入

地方交付税

△5400万円

寄付金

△2800万円

主な歳出

うなばら荘への補助

2700万円

夢はぐくむ村づくり寄付記念品

△946万円

国保特別会計繰出金

△2813万円

南部箕蚊屋広域連合負担金

△540万円

後期高齢者広域連合負担金

△618万円

公共下水道事業繰出金

△678万円

夢はぐくむ村づくり基金

△2800万円

主な質疑

Q

地方交付税が減額になった理由は。

A

福祉事務所に関する特別交付税が、普通交付税に算入された。

Q

「うなばら荘」の①補助金2700万円について、資料を提示し説明を。

A

①議会開会中に提示する。
②50日間休業中の人件費支払い、冬場の光熱水費が大きい。
③利用者意見は、うなばら荘へ相談する。

Q

村づくり基金の返礼品に
対し、総務省から何か通達
があったのか。

A

総務省と県から通達があり、
寄付額の3割に近づけて
いる。

総務経済常任委員会報告

今年2月6日、「樽屋北地区（431号沿い）への企業進出予定地」を視察しました。地域に役立つ企業となるよう提言していきます。



「株伯耆のきのこ」に伺い、現在の経営と作業内容、販売等について三嶋社長から説明を受けました。雇用を生み出すなど、手腕を感じました。

廃止…か

- ・業務内容の見直し(検証)は
- ・組織の見直しは
- ・存続の要件は

《公社の歴史》

いつできたか

平成元年、村が出資
設立し現在に至る。



旧今吉中線 (平成元年頃)

どんな組織か

理事会の構成は、村
長 (理事長)、役場課
長4人 (理事)、監事
2人で、合計7人。

主な活動は

公用地の先行取得、管理、処分など。



大山停車場線 (平成元年頃)



現在

長) の所見

立以来、開発事業に係る代替地の確保や事
た。

し、長期間の景気低迷等により、村財政に

定し、平成25年度から5年間でヴィレステ
実施し昨年度完了いたしました。

発公社の役割を終え、解散に向けた検討を

が将来の村をつくる 整理事業の成果)

の要旨)

: 14.1ha 総事業費: 10億700万円
(清算期間5カ年を含む)

施行後	備 考
31,400㎡ (22%)	10%⇒22%
26,900㎡ (19%)	7%⇒19%
56,200㎡ (40%)	67%⇒40%

追跡

村の土地開発公社 存続か... 縮小

今後の方向は

経営健全化計画がおおむね終了したことや、公社の設立当初に比べて経済情勢、財政状況などが変わってきており、存続の要否も含めた見直しが必要である。

理事長（村）

日吉津村土地開発公社は、平成元年に設
業用地の先行取得等の役割を担ってきまし
しかし、平成3年のバブル崩壊に端を
も影響を与えかねないものとなりました。
このため、村は「経営健全化計画」を策
ひえづ建設用地等、公社所有地の買取りを
今後は、公共用地先行取得という土地開
進めてまいります。



現在

行政主導の計画道路 (今吉田園土地区画)

〈事業計画

地区名：今吉地区 施行区総面積
施行期間：平成2年から17年度

	施行前
道 路	14,300㎡ (10%)
宅 地	9,500㎡ (7%)
畑	94,300㎡ (67%)

※%は施行区全体に占める割合

他の自治体は

県内でも米子市、三朝町などはすでに公社を清算（解散）している。

経営状況は

- 未処分所有地（塩漬け土地）が多いことが判明し、平成25年度から29年度までの経営健全化計画（5ヵ年計画）を立て改善が図られる。
- 海浜運動公園整備計画の縮小が決定となる。（平成29年度）
- 近年、公社による土地の先行取得（実績）はない。



旧今吉中線（平成元年頃）



現在

村

政

に

喝

一般質問



7人の議員が質問しました。

【3月5日（月）】

議員	ページ	質問事項
加藤 修	9	1. 新入生への安全対策は 2. 住みよい村づくりへの施策は
松田 悦郎	10	1. 保育所建て替えの考えは 2. 図書館で自習利用ができない理由は
江田 加代	11	1. 次期一般廃棄物処理場の確保は 2. 常勤職員を増やし福祉の充実を
井藤 稔	12	1. 迅速・柔軟な予算執行の配意は 2. 自治会公民館の設置等に関する考えは 3. 議会改革条例施行への対応は
河中 博子	13	1. より効果のある住民福祉を

【3月6日（火）】

議員	ページ	質問事項
松本二三子	14	1. 村の取り組みの評価と今後は 2. 村づくりでのコミュニティとは
三島 尋子	15	1. 保育所・児童館の更新を 2. 6次産業化は



加藤 修 議員

新入生への安全対策は

村長 学校等と連携して行う



▲自転車の安全点検

Q

①新入生等の交通安全対策は。②防犯灯の整備状況および防犯パトロール等の強化をどのように行うのか。

A

村長

①春の全国交通安全運動時の防災無線や、ミニパトでの広報で新入生の交通安全の注意を呼びかける。また、安心とつとり交通安全県民運動（毎月1日・15日）の日に

交通指導員等で、所要箇所での安全指導を行っている。

②防犯灯の整備状況は、自治連合会等の要望により対応している。水銀灯LED化計画にもとづき258基中、107基を取り替えた。パトロール強化について、村と駐在所との連携を密にして農作物の盗難被害等に対し、防犯看板の設置や見回りを行っている。

また、夏休み夜間巡回パトロールも続けて行っている。

A

教育長

①小学校の取り組みは新入生説明会において、親子で通路の下見をお願いした。6年生には、中学校通学路の説明と自転車の安全指導を行った。

中学校の取り組みは交通安全マップの配布と、パワーポイントで危険箇所の説明を行う。

住みよい村づくりへの施策は

村長 いろいろ取り組んでいる

Q

①イクボス・ファミボス宣言の説明を。

②健康ポイント事業の推進について。

③スポーツをするうえでのリスクの対処方法。④ヘルプマークの説明。

A

村長

①村長・教育長・課長以上の10名で行った。とくにファミボス宣言は県内初の試みであり、従来の子育てを中心に、部下を応援するイクボス宣言に合わせ介護等の職員の、生活状況にも配慮した。

②対象事業参加者に手帳を配布し、20ポイントで千円の商品券と交換するもの。③スポーツをする方、指導者等を対象に「急救救命講習」「テーピング講習」を予定している。④ヘルプマークは、義足や人工関節の使用者、内部障がいや難病の方が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせるためのマーク。福祉保健課窓口で、希望者に無料配布している。



▲ヘルプマークをご存じですか…



松田悦郎 議員

保育所建て替えの考えは

村長 30年度から具体的な検討に入る

Q 保育所は昭和51年11月30日に新築されてから改築や補修を行い、今年で42年となる。

共働き世帯の増加に

ともない、建て替えについての考えを伺う。

A 村長 保育所は園児

数の増加で増築や改築で対応してきた。



▲建て替えが待たれる保育所

手狭になっている現在の状況では、これ以上増築を行うのは困難である。

ただ、小さいときの子育てをしっかりとすることが大事であるので、関係者の意見も伺いながら、建て替えについて30年度から具体的な検討に入る。

一部屋ごとの保育ルーム規模は基準に合っているが、園児の行動には保育室が狭く、体格が良くなっているなどで建て替えを検討する時期にきている。

村では公共施設等総合計画を策定したことで、児童館や子育て支援センターなども含めた複合的な建設も視野に入れなければならない。しかし、一番の課題は資金をどのように確保するかなどの方向性がかめていない。住民の皆さんに将来負

担を与えない財政指標をつくるのが私の役目である。

現在、子どもたちは勉強などをヴィレステの図書館を利用しないで出会いストリートで勉強している。

Q 現在、子どもたちは勉強などをヴィレステの図書館を利用しないで出会いストリートで勉強している。

図書館で自習利用ができない理由は何ですか？
教育長 自習は出会いストリートに確保してある。

A 図書館で自習利用ができない理由を伺う。

教育長 本来、図書館

の閲覧コーナーは、だれでも、いつでも閲覧できるように設けてある。長時間独占されるような利用に関してはご遠慮していただくようお願いしている。

図書館は当初から常時満席であることを想定はしていなかった。建設規模や予算等の関



▲閲覧が最優先の図書館

係として閲覧スペースのみ配置している。自習は自主スペースとして出会いストリートに確保している。

いずれにしても、出会いストリートなどの学習スペースとして、環境を整えていく必要がある。ヴィレステひえつの機能全体との整合をはかりながら、工夫をしていきたい。



江田加代 議員

次期一般廃棄物最終処分場の確保は

村長 広域で議論していくことに



▲周辺には農地が広がっている一般廃棄物最終処分場（淀江町小波）

Q 西部広域行政
管理組合の資料
によれば、現在供用中
の一般廃棄物最終処分
場は後10年程度で満杯
になると予測されてい
る。

A ごみの減量化は構成
市町村の責務と考える。
村のごみ減量化の取り
組みは。

村長

人口が増加傾
向にある中で、家庭ご

みの排出量は横ばいで
ある。村民の減量化の
意識や取り組みの効果
の現れと評価している。

Q

処分場のとな
りに、産業廃棄
物管理型最終処分場が
計画されている。米子
から水道水を供給され
ている村も含め水源と
して地域全体の問題と
考える。村長の所見は。

A 管理型最終処
分場は県の業務である。
県が設置した専門家
会議が開催され、建設
計画に問題はないとの
見解が示された。

周辺自治体としては
米子市がどう判断され
るかだと聞いている。

Q

次期一般廃棄
物処分場の候補
地は隣接するその土地
以外にないと考えるが、
西部広域で検討されて
いるのか。

村長

この4月から
むずかしい判断を迫ら
れながら議論をしてい
くことになると考えて
いる。とくに産業廃棄
物の管理型最終処分場
の計画については今、
村長の立場でものを申
し上げるものも何もな
い状態である。

A 常勤職員を増やし
福祉の充実を
形変更に検討



▲“このひとときが待ち遠しい”
—地域訪問見守り中—

村長

Q

高齢者の多く
が不安を抱えな
がら日々暮らしておら
れる。不安を取り除く
ため、特に独居の方に
一日一回、様子うかが
いの電話をしてはどう
か。また、正規職員を
増やし施策の充実を。

村長

この頃の包括
支援の動きは、一人ひ

とりの状況にに応じて密
度を変えながら対応し
ている。独居や高齢者
のみ世帯を対象に、見
守り機能付緊急通報装
置利用者の拡大を図っ
ていく。

職員体制については
31年度から非常勤職員
の雇用形態を変えてい
かなければならない。
正規職員を増やすとい
うことではないが、住
民サービス向上の方向
にシフトされる可能性
が非常に高い。



井藤 稔 議員

迅速・柔軟な予算執行の配意は

村長 しっかりと判断が必要

Q 執行について
村民からの苦情
が依然としてある。

- ① 迅速・柔軟な執行に
配意されているか。
- ② 予算外の必要経費へ
の対応は。
- ③ 急な要望の把握と検
討システムは。

④ 予備費等の活用と今
後の改善は。

A

- ① 担当課長の
執行管理や担当者のス
ケジュール管理により
徹底を図っている。
- ② 原則、補正予算で対
応し、可能な場合には

年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額	100	100	100	100
執行額	0	0	0	0
執行率	0	0	0	0
年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額	500	500	500	500
執行額	0	46	0	0
執行率	0	9.2	0	0

※予備費とは⇒予算外の支出、予算超過支出に充てるため、歳入歳出予算に計上しなければならないことになっている。(地方自治法217条)

▲活用が期待される予備費

Q

利用形態が多
様で、公共性も

自治会公民館の設置等
に関する考えは
村長 補助で対応したい

予備費の執行は、
しっかりとした判断が
必要で、村単独ではほ
とんどやっていない。

専決で対応している。
③ 担当課から上がって
くるので、総務課長と
協議し、決定している。

④ 主体的に予備費を執
行する発想はなかった。

最近、県の予備費の執
行に沿って補正する
ケースが多く、ありが
たい。

一段と高くなってきて
いる。

① 設置、管理、運用の
現状は把握されている
か。

② 行政から見た問題点
と今後の課題は。
③ 村の取扱い規程の整
備が必要ではないか。

A

村長

① 上限200
0万円、2分の1補助
で建築して以降、バリ
アフリー化などで一定
割合の補助金を出し、
対応している。管理、
運用は自治会でやって
おられる。
② 今後、経年による大
規模な修繕や建て替え
で、行政の対応が必要
な時期を迎える。



▲目を通して頂きたい改革条例

Q

昨年二つの議
会改革条例が施
行となった。

行政の理解と協力が
必要と考える。

- ① 議会改革の推進に対
する村長の期待は。
- ② 施行に当たり、職員
に何か指示をされたか。
- ③ 施行で行政が変わっ

議会改革条例施行への
対応は
村長 改革への助力は
惜しまない

③ 個別に補助金で対応
してきている。今のと
ころ規程を整備する考
えはない。

A

村長

① 議会も行政
も究極の目的は、村民
の福利の増進であり、
期待している。
② 施行により、行政の
姿勢もさらに明確に
なった。そのむねを指
示した。
③ とくに変わったとこ
ろはない。
④ 行政改革、議会改革
の両方ができて困難な
時代が乗り切れる。議
会改革への助力は惜し
まない。



河中博子 議員

より効果のある住民福祉を

村長 高齢者が安心して暮らせるよう 事業を充実させたい



▲タクシー券をもっと便利に

Q

タクシー券助成制度は、引きこもりになりがちな高齢者の社会とのつながりを促進して効果大だと思いが、支給の条件がきびしすぎないか。

A

村長 心身に重度の障がいのある方に、日常生活の利便性と社会活動の参加促進をはかるために始めた事業。平成25年度から、条

Q

件付きで65歳以上の高齢者のみの世帯に、27年度からは条件に関係なく、75歳以上の高齢者のみの世帯まで範囲を拡充した。

Q

65歳以上の世帯でも、家族が自家用車を所持しているともらえない。何か事あれば子どもに連絡をして家庭内で対処を、ということか。

A

福祉課長 その時は、やはりご家庭で対処していただきたい。

Q

受給者二人が乗りあわせて使ったときでも、一回一枚500円しか使えないか。

A

福祉課長 その場合は、2人が一回一枚、計1000円として使っていたらよい。

Q

うなばら荘施設利用券を風呂で使うには、3600円の回数券を購入するしかないのか。

A

村長 当初は、宿泊・食事の利用のみを対象としていたが、現在は食事と売店の併用も可能としているので、利用範囲については、うなばら荘と協議し検討したい。

Q

地域訪問見守り事業を、行政として、どのような役割をになうのか。

A

村長 この事業は社会福祉協議会へ委託し、平成29年度より実施している。現在、行政・社会福祉協議会・民生委員の三者であたらしく協議

体を作り、意見交換をしながら、高齢者が安心して暮らせるよう、事業を充実させたい。



▲施設利用券をもっと使いやすく



松本二三子 議員

今後のまちの保健室は

村長 若い世代も対象に

Q ①まちの保健室について。

- ②健康ポイント事業は。
- ③小規模保育所は。
- ④ごみ処理の減量化は。
- ⑤人口増への土地利用。
- ⑥30人学級の推進は。

A 村長

①各公民館での開催は定着しつつある。今後は若い世代も対象とし、ヴェレステひえづで行う予定。同伴の子どもさんは、

ゲームコーナーに参加するなど工夫する。

②20ポイントを集め、商品券を受け取った人は6人。次年度は働く世代への配布など、3カ年計画で進める予定。

③0〜2歳児が日吉津保育所と、2つの小規模保育所の3園に分かれてもいることもあり、待機児童はゼロ。3歳で日吉津保育所で、一緒になつても問題は無い。

④ペットボトルや発泡スチロール等は、ごみの分け方保存版にも記載されているように、スーパー等の自主回収も利用されたい。今後、ごみの分別

⑤土地活用の意向アンケートの実施などを行っている。売却希望もある。村外からの移動が増加、まだまだ増える予定。

⑥児童一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな指導を一層充実し、学校生活への円滑な適応、良好な人間関係の構築、生活習慣の確立等に取り組む、学力のさらなる定着を目指すために30人学級を実施したい。今年の6年生は、入学時から2クラスで生活し、スムーズに活動ができたと考える。



▲ヴェレステでの「まちの保健室」

教育長

⑥児童一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな指導を一層充実し、学校生活への円滑な適応、良好な人間関係の構築、生活習慣の確立等に取り組む、学力のさらなる定着を目指すために30人学級を実施したい。今年の6年生は、入学時から2クラスで生活し、スムーズに活動ができたと考える。

Q

行政懇談会の資料に「地域コミュニティを重視し、自治会ごとにコミュニティづくりを推進していく」とある。

村づくりでのコミュニティとは
村長 住民自治・役割分担は必要不可欠

A

村長

①上限5万円の活動支援助成を実施。新規も中途も対象。②当時は自治会担当の職員がいた。依頼があれば、出向していく。③法人化を目指している。ただきたい。



▲普段からのコミュニティが地域を守る

①村の自治会コミュニティ活動支援は。
 ②20年ごろには住民避難マニュアルを、役場



三島尋子 議員

保育所・児童館の更新を

村長 新年度からやるべきと確信



▲安全安心の子育て環境の充実を

Q 昨年3月「公
共施設等総合管
理計画」を策定されて
いる。その概要は。

A 村長
国の「インフラ
長寿命化基本計画」に
より全国自治体も策定。
建物だけでなく公共
施設すべての長寿命化
計画である。この計画
を基本として個別の計
画を立てていく。

下水道の長寿命化は
終了。道路は点検しな
がら補修しているが、
舗装には大きな支出を
ともなう。
今後40年間の更新費
用を、約132億円と
試算している。

Q 保育所、児童
館など子育て施
設の更新を望む声が大
きくなっている。十分
な時間をもって意見を
聴き、取り組むことが
必要ではないか。新年
度から進める考えは。

A 十分承知して
いる。保育所、児童館
子育て支援センター等
の建物の方向性を定め
ること。財政的な将来
設計を見据え、子育て
環境充実に向け、建て
替えの検討を、新年度
からやるべきだと確信
した。意見を聴いて進
める。

Q ふれあい生活
館の活用再検討
を、という意見がある
利用・管理状況は。住
民の意見も聴き、農産
物加工場として活用す
る考えはないか。

A 村長
年々利用は減
っているが、味噌づく
りに一番利用がある。
運営協議会では、販
売を考えてという段階
に至っていない。販売
目的には、保健所の許
可がある。今後あれば
検討が必要。

Q ①現況から今
後の村農業をど
うみているか。
②31年から収入保険制
度が始まる。農業者の
受け止め方と青色申告
状況は。
③生産された作物で、
6次産業化し、雇用も
生み出すなど検討する
考えは。

A 村長
きびしい面も
あるが、各種補助金活
用などで新規就農、規
模拡大の新しい流れが
出つつある。農地中間
管理事業や土地改良法
改正もあり、農家の意
識改革が大きい。
②青色申告の50件前後
は移行かと思う。
③検討は、まだまだ不
十分。
消費者ニーズを、生
産者と考えていく必要
がある。

Q 6次産業化は
村長 検討は、
まだまだ不十分



▲土地改良法の改正で農家の意識改革を

子育てゾーンの『声』 お聞きしました



▲小学校PTA会長
濱田 伸さん

児童館

子どもも通っているの
で、気になっていたトイ
レが改修されたと聞き、
安心しました。

ただ、人数も増える今
後のことを考えると建物
は古いし、狭い。

子育て支援センターと
共有している、外の広場
も小学生には狭いように
感じています。

子どもの数が増えてく
ると、職員さんの数も必
要ですし、目が行き届く
のかという心配もありま
す。受け入れに対して
キャパが足りないよう
では困ります。

保育所

増設、増設で見た目も
あるが環境的にどうかと
いう気もします。

二階建てもありかなと
思います。駐車場や芝生
広場は、児童館と一つの
施設としてうまく使え
たらと思うし、太陽光発電
など自然に優しいのがい
いです。

外は芝生、中は床暖房
で裸足の生活というのも
いいですね。

保育所と、児童館が近
くで交流でき、子どもも
保護者も顔見知りになれ
ると緊張感なく、小学校
でも生活できるように思
います。

思い

ふれあい生活館も入れ
た総合複合施設とし、炊
き出しもできる災害時避
難所にするとか、一時あ
ずかりなども検討してほ
しいですね。

保育所

山口さん あまり記憶に
はないんですが、上一自
治会にあった保育所にも
通いました。

重松さん 途中からは今
の保育所だったので、そ
う考えると古い建物だと
感じますね。

駐車場の広さは大事で
すし、これから人数が増
えることを考えると、部
屋数も必要です。

山口さん もう子どもが
大きくなって、すぐ昔
のこのようです。

児童館

重松さん 今年、一番下
の子が小学校を卒業した
んですが、今までこんな
児童館がいいとか、ゆっ
くりと考える余裕もな
かった気がします。仕事
をしていて一日があつと
いう間で。

ただ、あまりにも良
ざると中学生などになっ
た時に大丈夫かという心
配はありますね。

山口さん 冷暖房とか。

思い

重松さん 保育所・児童
館とも、本当にお世話に
なりました。ただ保護者
も現役が終わると忘れて
しまう。今、現役で子育
てをしている人の困って
いること、希望をしっかりと
聞いてあげてください。
重松さん・山口さん
よろしくお願ひします。



▲同級生で、村で子育てをされた
重松由理子さんと山口由美さん

村民インタビュー

親しまれる議会報をめざして広く村民のみなさんから意見をいただくコーナーです。

これまで議会でも、保育所をはじめ、児童館・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター（児童館内）の「子育てゾーン」に何度も視察に出かけ「手狭になった」「建物が古く建て替えが必要では…」という思いはありました。

今回のインタビューを通してみなさんの「声」を聞かせていただきました！！



▲昨年度の愛護会長
江見幹人さん

保育所

運動会時の芝生広場や発表会の時にホールは、せまく感じます。

送迎時には駐車場は今くらいの広さがあるとありがたいですね。

芝生広場は手入れが大変だとは思いますが継続してほしいです。

児童館

上の子がお世話になっています。職員さんのセンスがいいのか、最新のビデオやおやつに子どもは大喜びです。親としてもありがたいですね。

その反面、ホールは寒いですしガラスが割れると危ない。中からも外からも、割れる危険があります。

外の遊具は楽しく使っています。もう少しホールと広場が広いといいと思います。

思い

保育所と、児童館の出入口が近いと助かります。広場も芝生で、共有できるといいです。

あと、遅くまで勤務される親の対応もお願いしたいです。ヴィレストのキッチンスタジオを利用した料理教室（子ども食堂のような）等。

村を押し上げる力にもなるので、今の世代の親のほうを向いて考えていってほしいと思います。

インタビューを終えて

今回、現役の保護者の意見を聞かせてもらい、納得したり、感心しながらも、自分の子育て時代とのギャップも感じました。「自分たちの時はこうだったのに…」という気持ちは捨てて、今の世代のほうを向いて、意見や思いを聴ける「耳」を持つことが大切だと思いました。

今回ご協力いただきましたみなさんありがとうございます。これからも、インタビューにかけ多くの「声」をいただきたいと思えます。



議会のうごき

自治功労者表彰

とき 2月16日(金)
ところ 鳥取市「ホテルモ
ナーク鳥取」

橋井議員は、議長として、10年以上在職し、議会の運営、地方自治の振興発展に尽力され、鳥取県町村議会議長会より、その功績を表彰されました。



感謝の言葉

村民のみならず、同僚議員のご理解とご協力のたまものと思っています。ありがとうございます。

全国町村議会広報コンクール表彰

とき 2月16日(金)
ところ 鳥取市「ホテルモ
ナーク鳥取」



「議会ひえづ」148号が、編集・デザイン部門で奨励賞を受賞しました。

「読みやすいやさしい紙面、紙面で何がどこまでできるか、何を期待されているか、限界を見極めているように見える」との講評に勇気をいただきました。

王子製紙との桜育樹祭

とき 4月5日(木)
ところ 日野川土手

この桜つつみは、平成5年から王子製紙(株)と日吉津村議会・日吉津村役場が共同で整備を進めてきた公園です。今年には花びらが散り、緑の葉っぱが広がった木の下での育樹作業でした。養分をいっぱい吸い込んで成長した、147本の桜の木が咲かせてくれる来年の花が楽しみです。



編集後記

3月13日、テレビも新聞も公文書の改ざん事件を一勢に報道。そのころこんな記事を目にしました。

「国会で『虚偽答弁』『公文書の改ざん』『そのことの隠ぺい』でスリーアウトですよ、なぜまだバツターボックスに立とうとしているのか、チェンジですよ。」怒りの比喩に納得……。

「議会ひえづ」がみなさんの手元に届くころ、状況はどうなっているでしょうか。

— 江田 記 —

表紙

日野川土手の桜つつみ

次回の定例会は6月です。まっちゃんよー!!



【議会広報広聴常任委員会】

松本 三子・三島 尋子
井藤 稔・松田 悦郎
江田 加代